

- 令和4年10月20日、岐阜県郡上市において、中部地方整備局と郡上市の共催により、「歴史まちづくりサミット」を開催。一般参加者、行政関係者合わせて約200名が参加。
- 第8回目となる今回のサミットは、歴史まちづくり法に基づく**歴史的風致維持向上計画の認定を受けた17都市の首長等が一堂に会し**、コロナ禍を経て人々の生活様式が変化中での歴史資源を活用した観光まちづくりのあり方や、歴史的風致を活かした'まちのブランド化'に向けた方策について、意見交換を実施。

## 【第8回中部歴まちサミットの概要】

### ●パネルディスカッション

テーマ「アフターコロナを見据えた歴史資源を活かした観光まちづくりのあり方」  
「歴史的風致を活かした'まちのブランド化'に向けた方策」

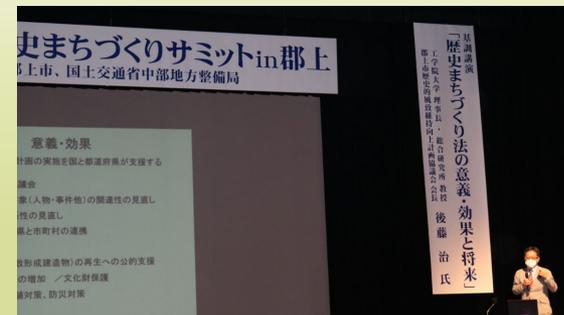


パネルディスカッションの様子



総括コメントを話す稲田局長

### ●基調講演「歴史まちづくり法の意義・効果と将来」



講演される工学院大学 後藤理事長

### ●アトラクション「郡上おどり」



郡上おどり保存会の皆様による郡上おどりの披露

### ●共同宣言



コロナ禍に屈せず、生き生きとした歴史まちづくりに邁進することを「共同宣言」として採択